

**平成30年度
新宿駅西口地域地震防災訓練
報告書**

平成31年3月

新宿駅周辺防災対策協議会

平成30年度 新宿駅西口地域地震防災訓練 報告書

目次

第1章	はじめに	1
第2章	東西地域合同地震防災訓練	3
2.1	概要	3
2.2	多数傷病者対応訓練	6
2.3	アンケート調査	19
2.4	訓練検証会	24
第3章	新宿駅西口地域地震防災訓練	28
3.1	概要	28
3.2	自衛消防訓練	33
3.3	西口現地本部訓練	54
3.4	講評会	68
3.5	アンケート調査	70
3.6	訓練検証会	80
第4章	おわりに	84

第1章 はじめに

新宿駅周辺防災対策協議会は、新宿駅周辺地域の事業者、商店街振興組合、鉄道・ライフライン関係機関および防災関係機関等で構成され、平成 19 年度より地域で連携した効果的な防災対策と地震防災訓練を継続して実施してきた^{[1]~[53]}。また、平成 25 年度からは新宿駅周辺地域都市再生安全確保計画の実施計画に地震防災訓練を位置づけ実施している^[54]。さらに、平成 27 年度には新宿駅周辺防災対策協議会のホームページ^[55]を開設し、訓練報告等活動履歴の公開および年間活動計画等の情報発信を開始した。

新宿駅周辺防災対策協議会が主催する地震防災訓練では、首都直下地震発生時の人口・商業業務機能が集中する新宿駅周辺地域における混乱防止と被害軽減に向けて、地域や防災関係機関の連携強化および自助・共助を基本とする地域防災力の向上を図るため、毎年実践的な訓練を計画し、新宿駅東口地域および西口地域において実施している。

平成 30 年度の訓練は、昨年度に引き続き、以下に示す目的、方針および重点目標を掲げて実施するとともに、新宿駅周辺地域で行う訓練とその検証機会を地域の災害対応力向上のための教育・訓練プログラム（図 1）に位置づけた。

(1) 目的

首都直下地震発生時の人口・商業業務機能が集中する新宿駅周辺地域における混乱防止と被害軽減に向けて、地域や防災関係機関の連携強化および自助・共助を基本とする地域防災力の向上を図るため、実践的な訓練を西口地域において実施する。

(2) 基本方針

「新宿モデル」（情報収集伝達、避難誘導支援、医療連携、建物安全確認のしくみづくり）の実現に向けて、新宿駅周辺防災対策協議会を中心に各事業者や施設等における災害対応、地域連携による情報収集伝達や医療救護などの「自助」および「共助」を基本とする訓練を実施する。

(3) 重点目標

- 講習会等で身につけた災害対応能力を活かし、事業所や地域で災害対応活動を総合的に実践できるようにする。
- 「新宿ルール実践のための行動指針」を訓練に活用し検証を行う。

本報告書では、平成 30 年度の東西地域合同地震防災訓練および新宿駅西口地域地震防災訓練について、訓練の実施概要、訓練参加者に対するアンケート調査結果および訓練の検証結果を報告する。

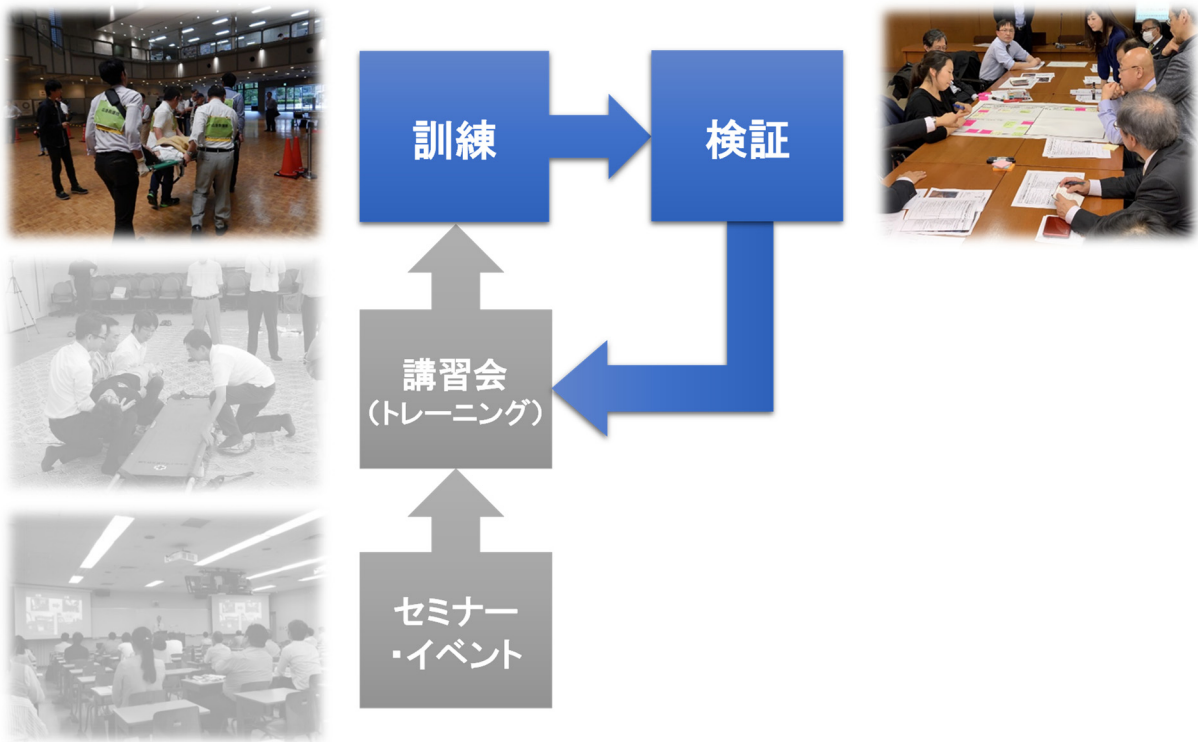


図 1 教育訓練プログラムの構成と本報告書の位置づけ